

2019年1月期 決算説明会

株式会社 シーイーシー

2019年3月20日

- 2019年1月期 経営成績
- 2020年1月期 業績見通し
- 第2期中期経営計画 PROMINENT概要
- おわりに



Shape your future

2019年1月期 経営成績 報告書

前年比較

(単位：百万円)

	2018年1月期 実績	2019年1月期 実績		
			増減額	増減率
売上高	45,994	50,005	+4,010	+8.7%
営業利益	3,748	4,982	+1,233	+32.9%
営業利益率	8.2%	10.0%	(+1.8%)	—
経常利益	3,819	5,058	+1,239	+32.4%
経常利益率	8.3%	10.1%	(+1.8%)	—
当期純利益*	2,604	3,400	+795	+30.5%
当期純利益率	5.7%	6.8%	(+1.1%)	—

* 「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」を示す。以降同じ。

業績予想比較

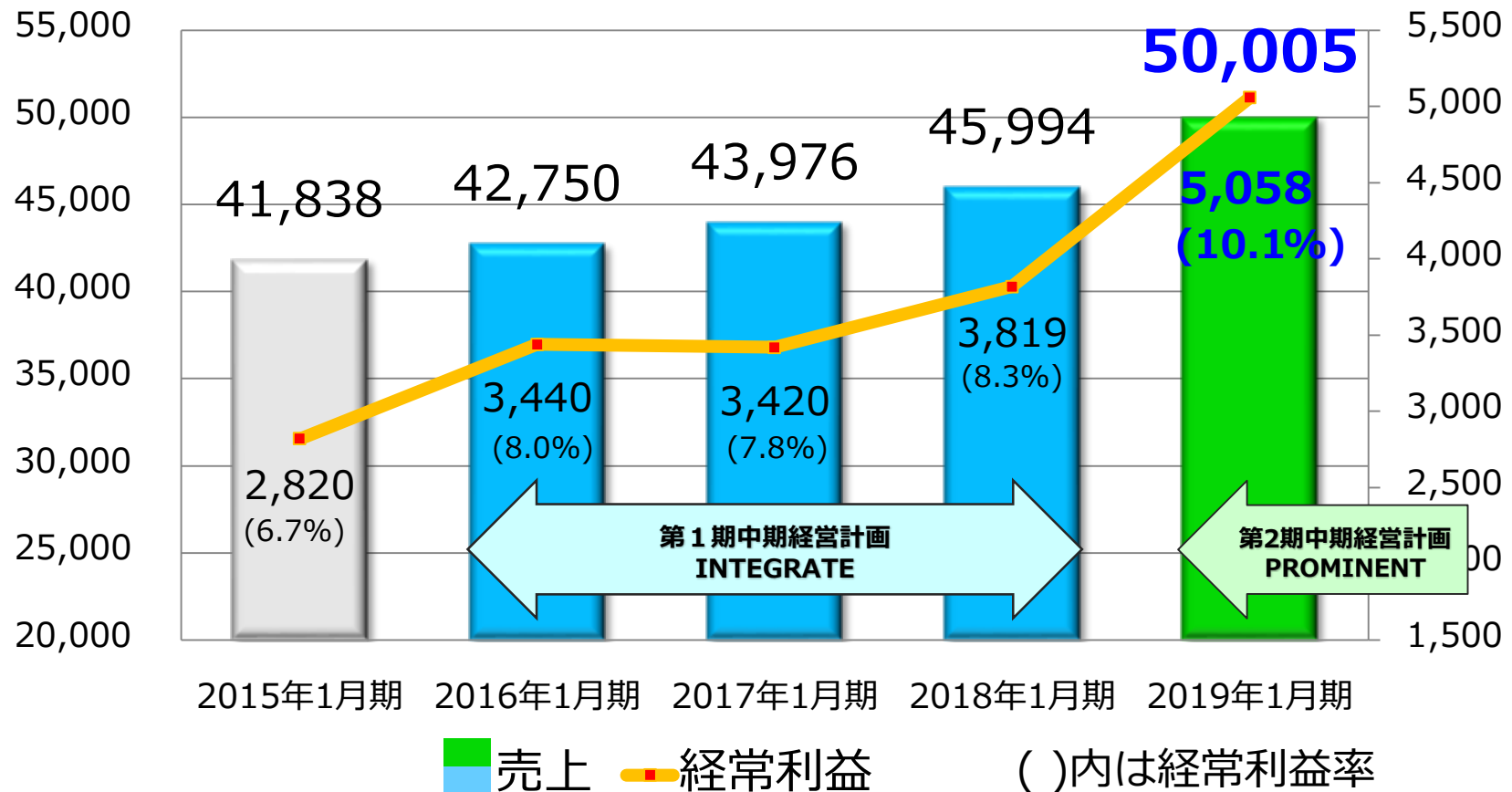
(単位：百万円)

	2019年1月期 実績	2018年3月 期首予想	2018年3月 期首予想に 対する達成率	2018年 9 月 修正予想	2018年 9 月 修正予想に 対する達成率
売上高	50,005	48,000	104.2%	49,200	101.6%
営業利益	4,982	4,150	120.1%	4,700	106.0%
営業利益率	10.0%	8.6%	—	9.6%	—
経常利益	5,058	4,200	120.4%	4,750	106.5%
経常利益率	10.1%	8.8%	—	9.7%	—
当期純利益	3,400	2,650	128.3%	3,200	106.3%
当期純利益率	6.8%	5.5%	—	6.5%	—

過去5年の売上高・経常利益の推移

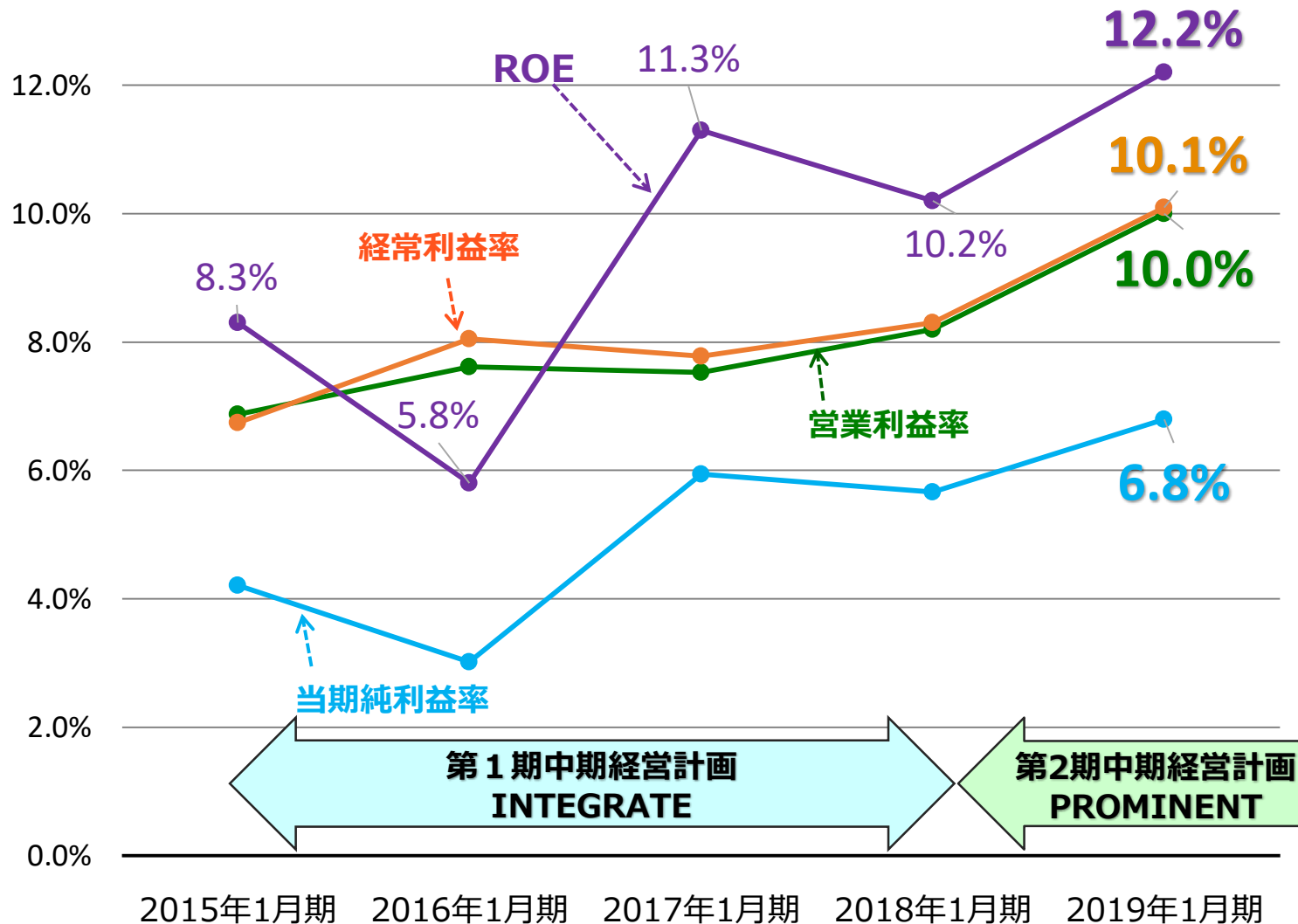
売上高(単位：百万円)

経常利益(単位：百万円)



- 第2期中期経営計画「PROMINENT」の初年度は、売上/経常利益ともに好調に推移し、利益面では過去最高を更新

過去5年のROE・各種利益率の推移



事業セグメント別の前年比較

(単位：百万円)

	2018年1月期 実績		2019年1月期 実績		増減額	
	売上高	営業利益 利益率	売上高	営業利益 利益率	売上高 (増減率)	営業利益 (増減率)
デジタル インダストリー	14,667	2,358 16.1%	16,583	3,307 19.9%	+1,915 (+13.1%)	+948 (+40.2%)
サービス インテグレーション	31,327	4,722 15.1%	33,421	5,217 15.6%	+2,094 (+6.7%)	+494 (+10.5%)
全社費用	—	▲3,332	—	▲3,542	—	▲209
全事業	45,994	3,748 8.2%	50,005	4,982 10.0%	+4,010 (+8.7%)	+1,233 (+32.9%)

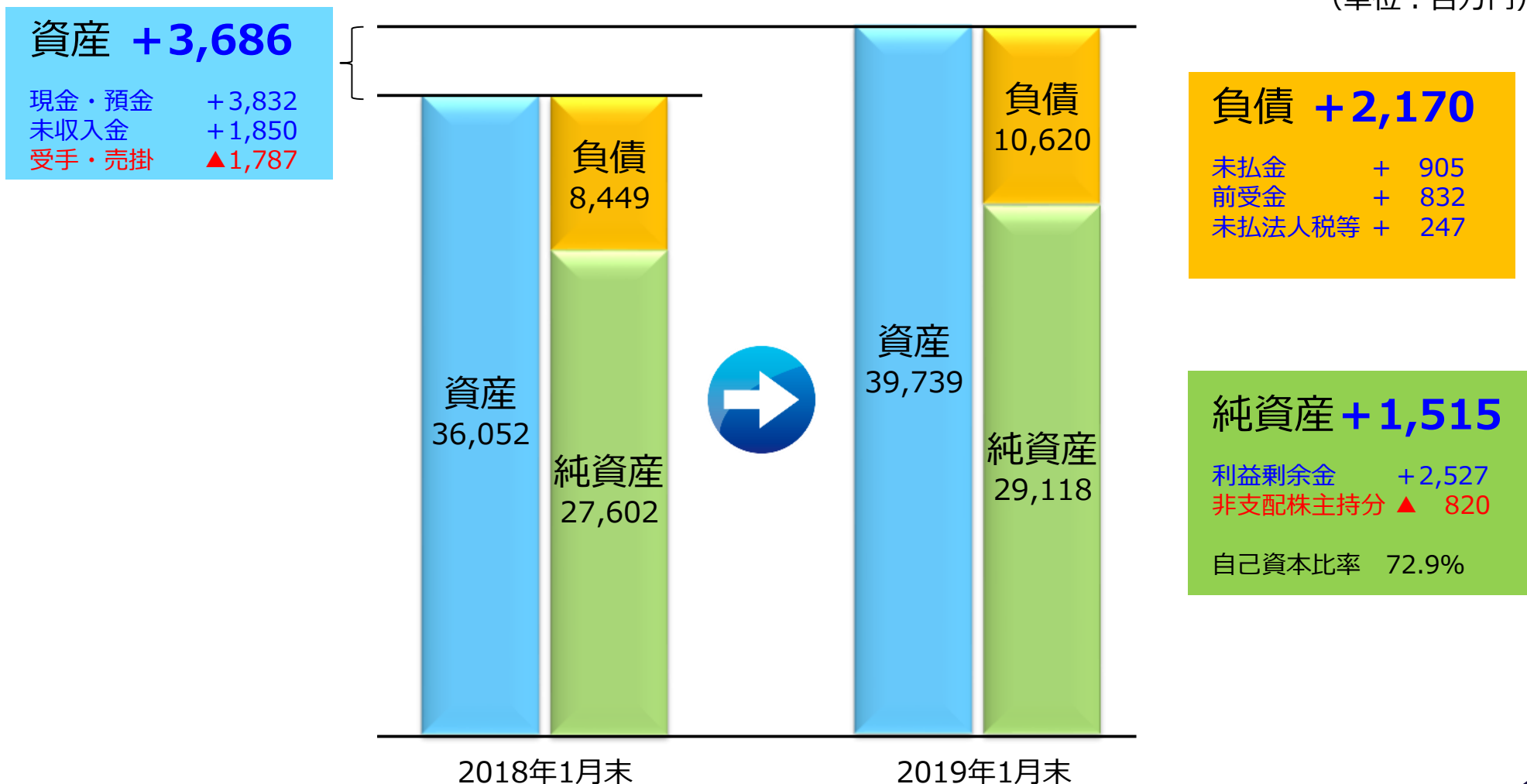
業種別売上の前年比較

(単位：百万円)

	2018年1月期	2019年1月期	前年比	
			増減額	増減率
製 造 業 (構 成 比)	19,459 (42.3%)	22,092 (44.2%)	+ 2,633	+ 13.5%
通 信・情サビ業 (構 成 比)	12,098 (26.3%)	12,213 (24.4%)	+ 114	+ 0.9%
金 融 業 (構 成 比)	6,454 (14.0%)	5,737 (11.5%)	▲ 716	▲ 11.1%
流 通 業 (構 成 比)	2,224 (4.8%)	2,593 (5.2%)	+ 368	+ 16.6%
官 公 庁 (構 成 比)	1,524 (3.3%)	2,827 (5.7%)	+ 1,302	+ 85.4%
そ の 他 (構 成 比)	4,233 (9.2%)	4,541 (9.1%)	+ 308	+ 7.3%
合 計	45,994	50,005	+ 4,010	+ 8.7%

連結貸借対照表 期首との比較

(単位：百万円)



業績ハイライト（全体概要）

売上高 50,005 百万円（前年比+4,010百万円）

◆ **デジタルインダストリー事業 (+1,915百万円)**

- ・組立製造業向けシステム開発や製品内の組込みソフト開発などの受託開発分野が活況
- ・検証サービスは製品開発プロセス全般を支援するサービス事業へ転換が進み需要増
- ・スマートファクトリー事業は新製品を含む主力製品の販売を中心に好調に推移

◆ **サービスインテグレーション事業 (+2,094百万円)**

- ・公共分野を中心にシステム開発とICTインフラ構築サービスなどICTサービス全般が伸長
- ・セキュリティサービス事業は計画通りに推移
- ・マイクロソフト連携事業は新規顧客開拓により順調に拡大

営業利益 4,982百万円（前年比+1,233百万円）

- ・売上拡大に伴う利益増
- ・品質/生産性向上による利益増
- ・前年の不採算案件が収束した反動による利益増

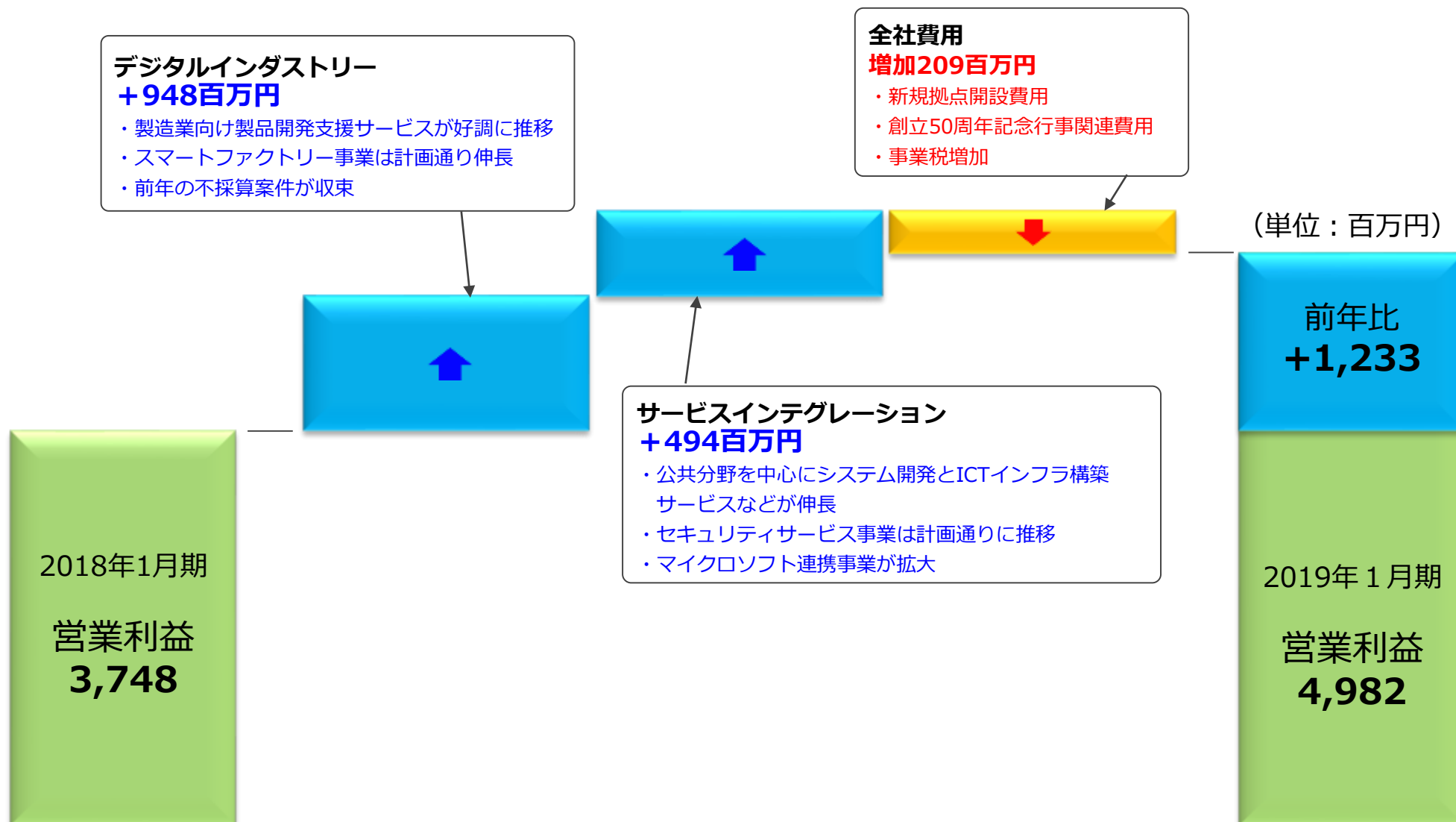
経常利益 5,058百万円（前年比+1,239百万円）

- ・営業利益の増加に伴う利益増

当期純利益 3,400百万円（前年比+795百万円）

- ・経常利益増加に伴う利益増

連結営業利益の主な増減要因



2つの注力事業の事業概況

スマートファクトリー 事業

製造業のIT投資拡大を背景に、自社オリジナルのスマートファクトリー関連製品やサービスの需要が拡大。今期発表した工場の可視化を実現するVisual Factoryの販売が好調。

セキュリティサービス 事業

オフィスセキュリティのSmartSESAMEは、前期の一時的な機器販売の反動減があったものの、CEC SOC拡販やパートナー連携強化によりセキュリティサービス全体では概ね計画通りに推移。

前年との売上比較	2018年1月期 実績	2019年1月期 目標	2019年1月期 実績	前期比 増減額	目標 達成率
スマートファクトリー事業	20.2億	29.0億	30.0億	+9.8億	103.7%
セキュリティサービス事業	30.9億	28.0億	29.0億	▲1.8億	103.9%
合計	51.2億	57.0億	59.1億	+7.9億	103.8%

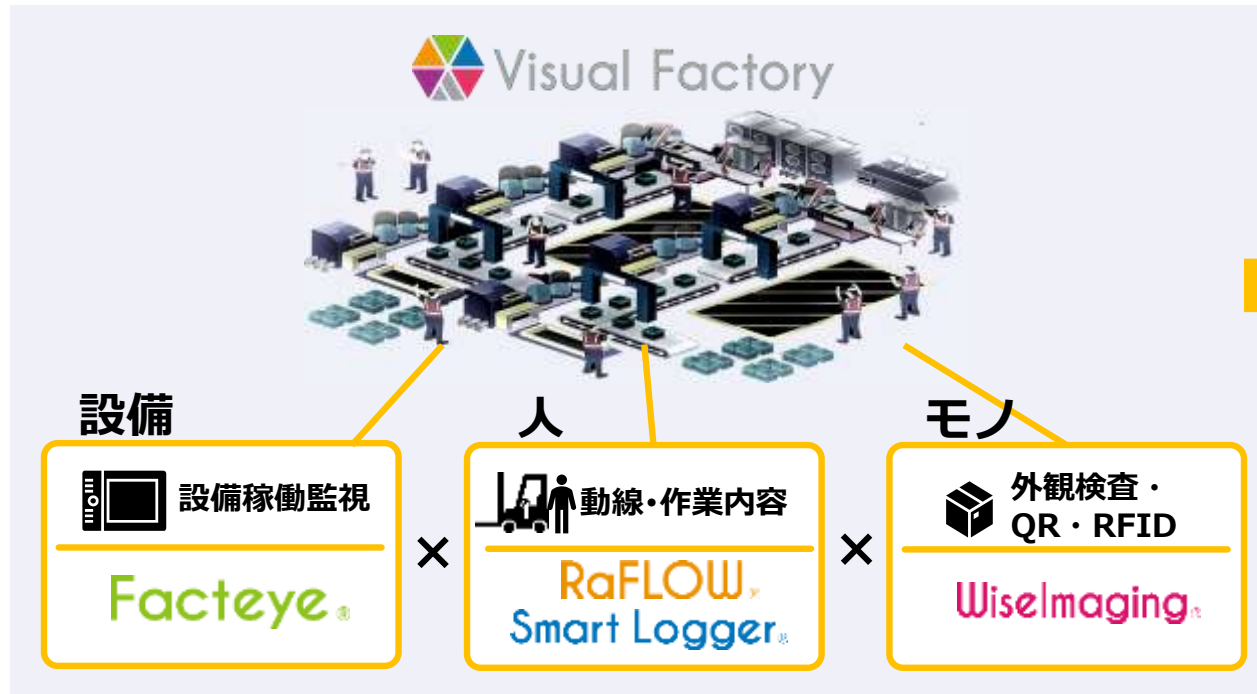
注) 2018年1月期のセキュリティサービス事業の売上には一時的な機器販売による売上を含んでおります

Visual Factoryを提供開始

2018年5月

工場内の設備・人・モノを可視化する、IoTシステムを提供

工場内の**設備・人**（作業者）・**モノ**（製品）の状態を**可視化**し、生産現場のQCD（品質／コスト／納期）向上と迅速な意思決定を支援する**IoT**（モノのインターネット）システム



1. 世界中の工場をモニタリング



2. 工場やラインの稼働状況確認



3. 生産ラインの評価



生産現場のQCD向上と
迅速な意思決定を支援

ICS Defenderを提供開始

2019年1月

生産ラインの制御機器・システムをセキュリティの脅威から守る

- ・設備の稼働管理・稼働実績管理システム「Facteye」との連携による**「不正アクセスの検知・可視化」**
- ・ネットワークセンサーによる**「不正通信の検知・可視化」**
- ・ネットワーク機器連携による異常検知時の**「防御」**
- ・24時間365日のセキュリティ監視サービス「CEC SOC」により、工場への**通報やインシデント対応**





Shape your future

CEC
Computer Engineering & Consulting

2020年1月期 業績見通し

業績予想

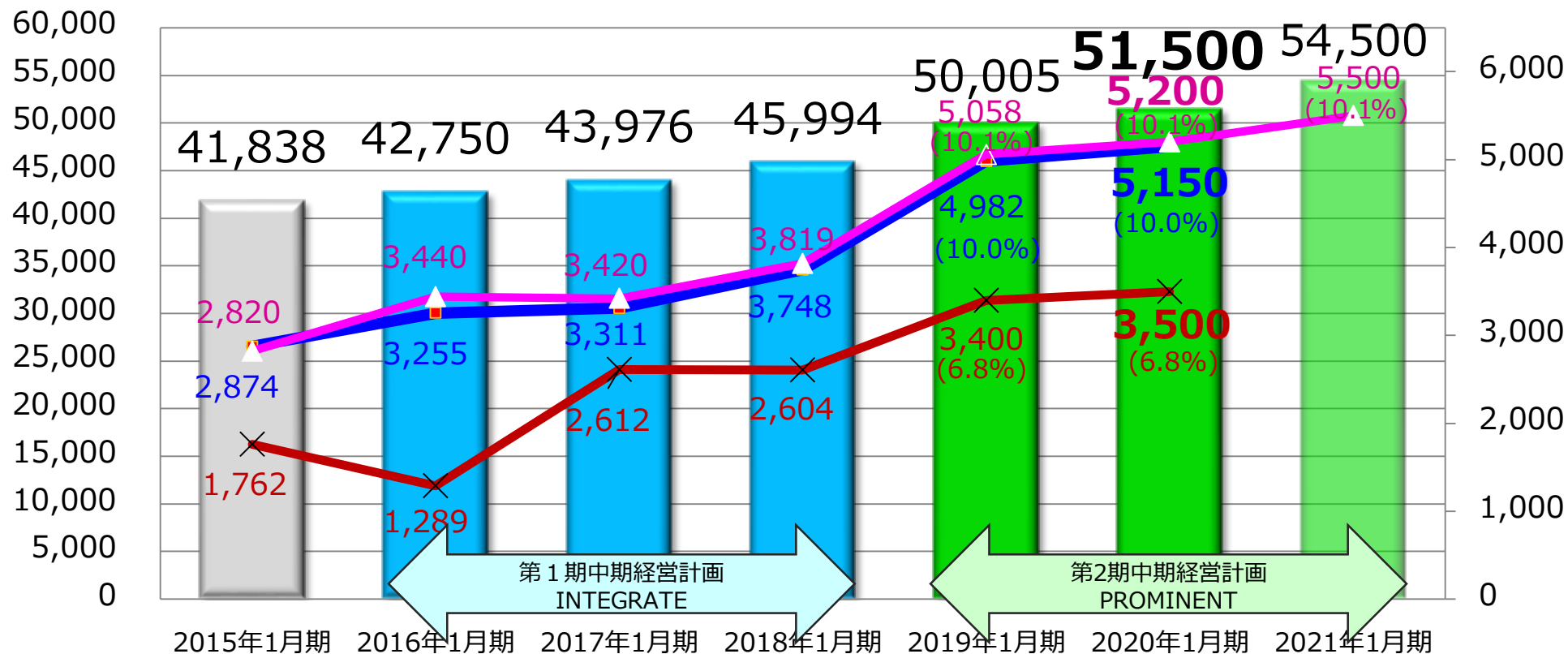
	2019年1月期 実績	2020年1月期予想		
			増減額	増減率
売上高	50,005	51,500	+1,494	+3.0%
営業利益	4,982	5,150	+167	+3.4%
営業利益率	10.0%	10.0%	(+0.0%)	—
経常利益	5,058	5,200	+141	+2.8%
経常利益率	10.1%	10.1%	(+0.0%)	—
当期純利益	3,400	3,500	+99	+2.9%
当期純利益率	6.8%	6.8%	(+0.0%)	—

業績予想の売上高・各利益の過去比較

■ 連続増収増益を見込む、経常利益率は10.1%を予定

売上高 (百万円)

利益 (百万円)



売上

営業利益

経常利益

当期純利益

括弧内は売上高利益率

事業セグメント別業績予想

(単位：百万円)

	2019年1月期		2020年1月期		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
デジタル インダストリー	16,583	3,307	17,370	3,370	+786	+62
サービス インテグレーション	33,421	5,217	34,130	5,300	+708	+82
全社費用	—	▲3,542	—	▲3,520	—	+22
全事業	50,005	4,982	51,500	5,150	+1,494	+167

大きな変化を予兆させる海外情勢

米国を中心に保護主義へ傾倒する諸外国

米国・中国の覇権争いによる世界経済混乱の予兆

中国の経済成長鈍化

米国の経済成長ピークアウト到来

英国ブレグジット・EU経済低迷によるEU崩壊危機

米国政権のさらに深まる存続不安

朝鮮半島情勢の変化による安保体制変容の恐れ

日本経済は堅調だが実態は内憂外患

政治は久々の安定政権

ラグビーW杯や東京オリンピックなどイベント

大手企業はデフレ時代を乗り越え筋肉質

完全雇用状態が継続、街には物が溢れている

さらに積み上がる財政赤字

消費税増税による景気悪化懸念

深刻な人材不足

日本の政治(与野党双方)に対して薄れる信頼感

世界経済から大きな影響を受けるグローバル経済

シンギュラリティ

技術的特異点
2045年まで、あと26年

AI

ロボット

自動運転

超高速無線通信

量子コンピュータ

- ・ ICT技術で、「不可能が可能に」
- ・ 人間とAI(人工知能)が共存する社会
- ・ SFの世界が現実となる

デジタル・トランスフォーメーションはさらに加速

世界情勢の変化や景気変動には
注意を要するが
様々な分野の成長戦略の中心に
IT活用が重要とされており
絶対的なIT技術者不足もあり
IT市場については当面は活況が続く

“世界経済減速の可能性が高い不安定な一年”

PROMINENTの最終目標達成のために

堅実な一歩

- ① 耐用性ある企業力構築に重点
- ② 増収増益基調を堅持

- ① **働き方改革・職場環境改善を継続**
- ② **従業員待遇の継続的な改善**
- ③ **主要顧客に対する徹底した取引拡大**
- ④ **注力事業を徹底して伸ばす**
- ⑤ **トラブルプロジェクト発生を未然防止**

① 働き方改革・職場環境改善を継続

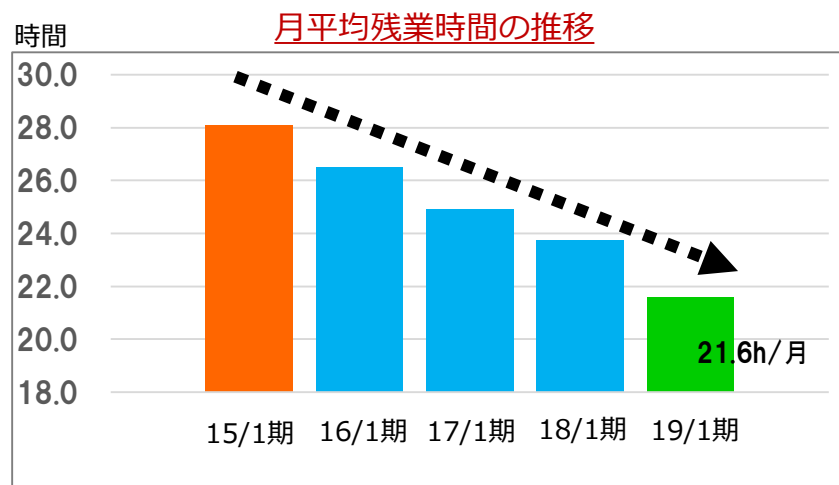
■ 働き方改革の取り組み

平均残業時間 目標20時間/月

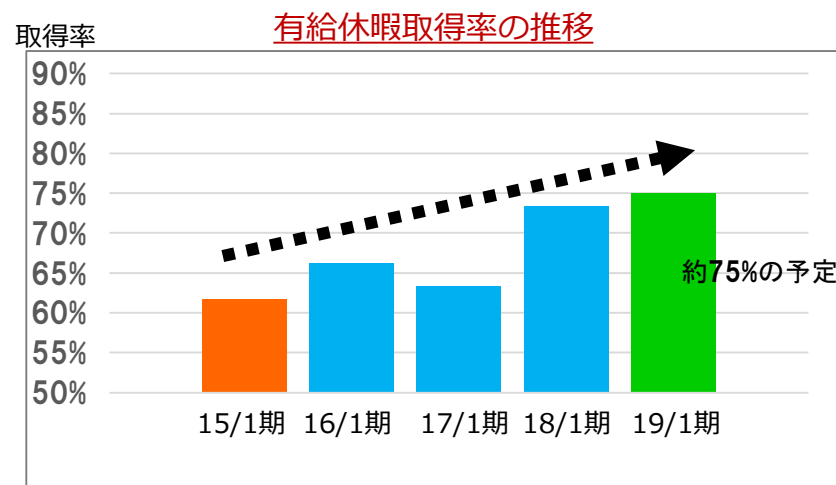
- ・業務効率化の推進と管理職の意識改善により、中計前年度の月間28時間超から6時間以上低減

有給休暇取得率 目標100%

- ・計画有給制度の実施やプロジェクト管理の徹底などにより、徐々に改善傾向



各期とも事業年度と同じ (2月～翌1月)



各期とも4月～翌3月、19/1期は推計

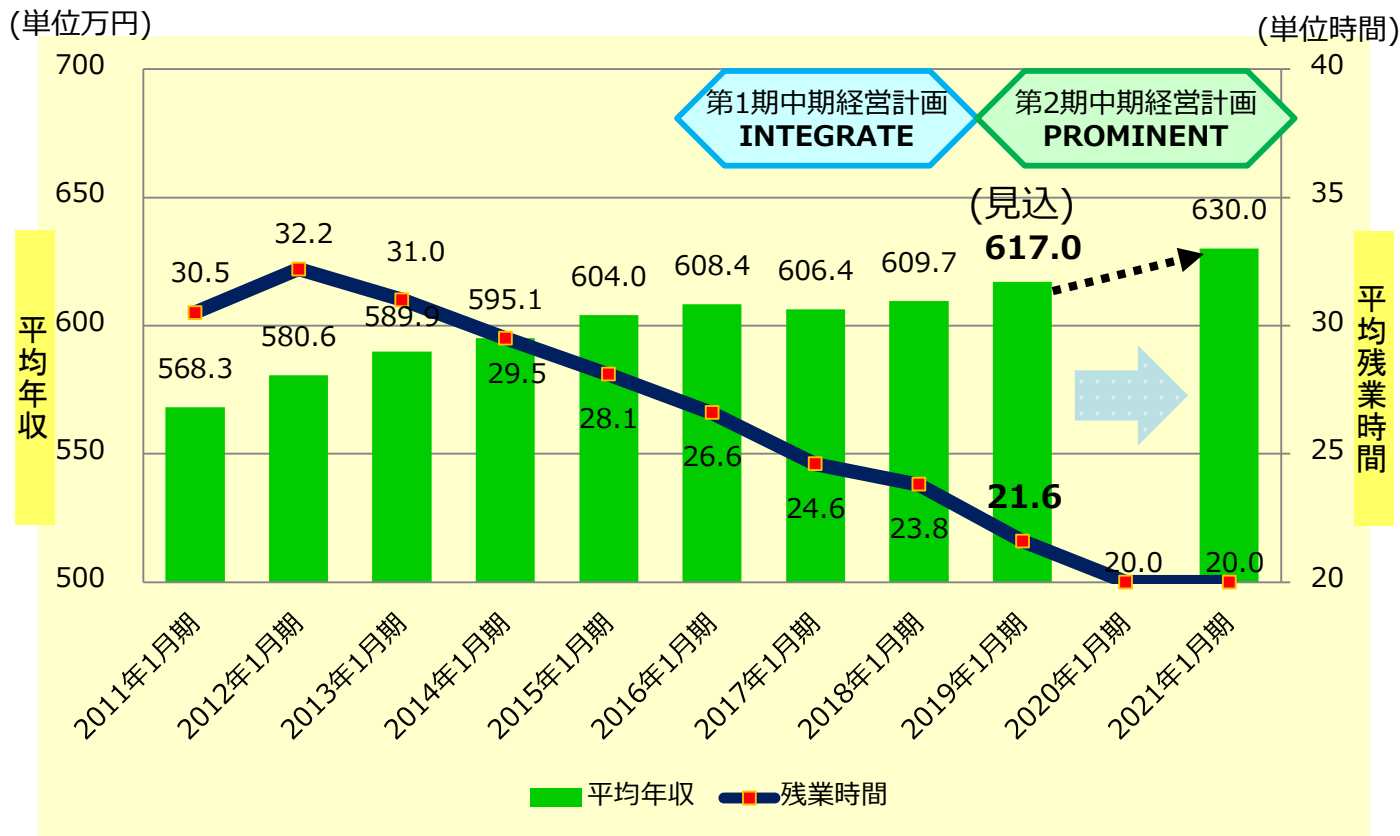
■ 新規拠点開設による職場環境の改善

- ・研究開発・技術革新の向上を目指す「品川イノベーションセンター」を開設済 (2018年12月)
- ・名古屋第二事業所の開設 (2019年3月11日より営業開始)

② 従業員待遇の継続的な改善

■ 平均年収の継続的な向上

- ・ 継続的ベースアップ、過去最高の賞与支給を継続



※ 平均残業は減っているが、ベースアップ、賞与支給額の増額など継続的な給与水準向上により平均年収は増加

※ 2021年1月期は平均年収630万円超を目標としている

■ 健康経営の取り組み

- ・ 昨年より、インフルエンザ予防接種について従業員および扶養家族分は会社負担とした

③ 主要顧客に対する徹底した取引拡大

■ 主要顧客においてもIT投資意欲は旺盛

長年取引している主要顧客群もIT投資には積極的であるが、深刻なIT技術者不足によりシステム開発やサービス体制の構築に苦慮している状態

IT技術者のリソースは主要顧客対応に重点的に振り向け、主要顧客との取引拡大により安定的な業績拡大のベースとする

■ 積極的な採用活動によるIT技術者の増加を推進

ここ数年来、定年退職者数の増加により従業員数の減少が続いているが、現状の従業員数を維持・拡大のために採用活動を強化する

- ・新卒採用の人数枠の拡大
- ・採用活動を強化し中途採用者数を拡大

④ 注力事業を徹底して伸ばす

スマートファクトリー事業

- ・スマートファクトリー製品販売と製品を活用したSIサービスの提供
- ・パートナー企業との連携強化による製品拡販とビジネス規模拡大
- ・製品サービスのラインナップ拡充と機能強化を推進

30.0億→38.0億
+8.0億 (+26.7%)

セキュリティサービス事業

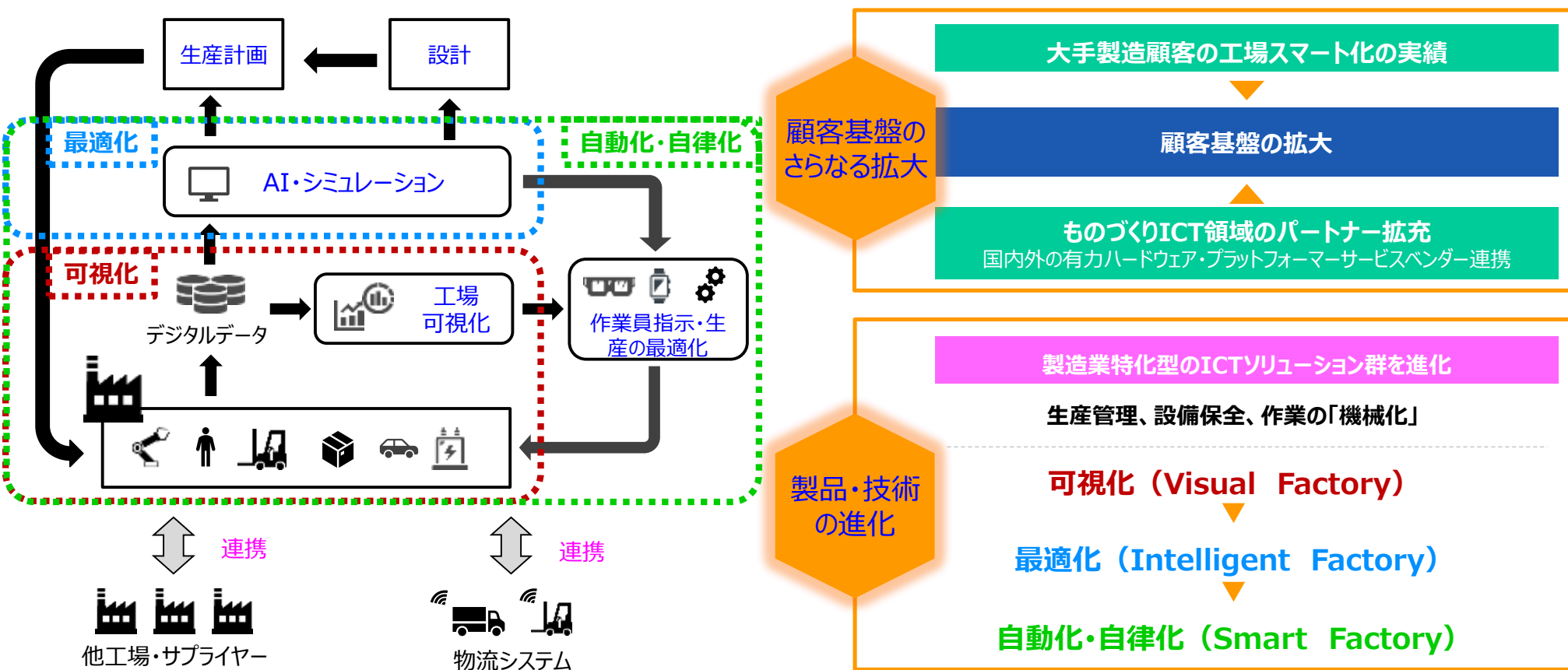
- ・トータルセキュリティソリューションCyberNEXTのさらなる成長加速
- ・アライアンス推進によるセキュリティサービス事業の業容拡大
- ・SmartSESAMEシリーズは官公庁・自治体分野中心にさらに拡販強化

29.0億→38.0億
+9.0億 (+31.0%)

注力事業合計 前年比売上 +17.0億

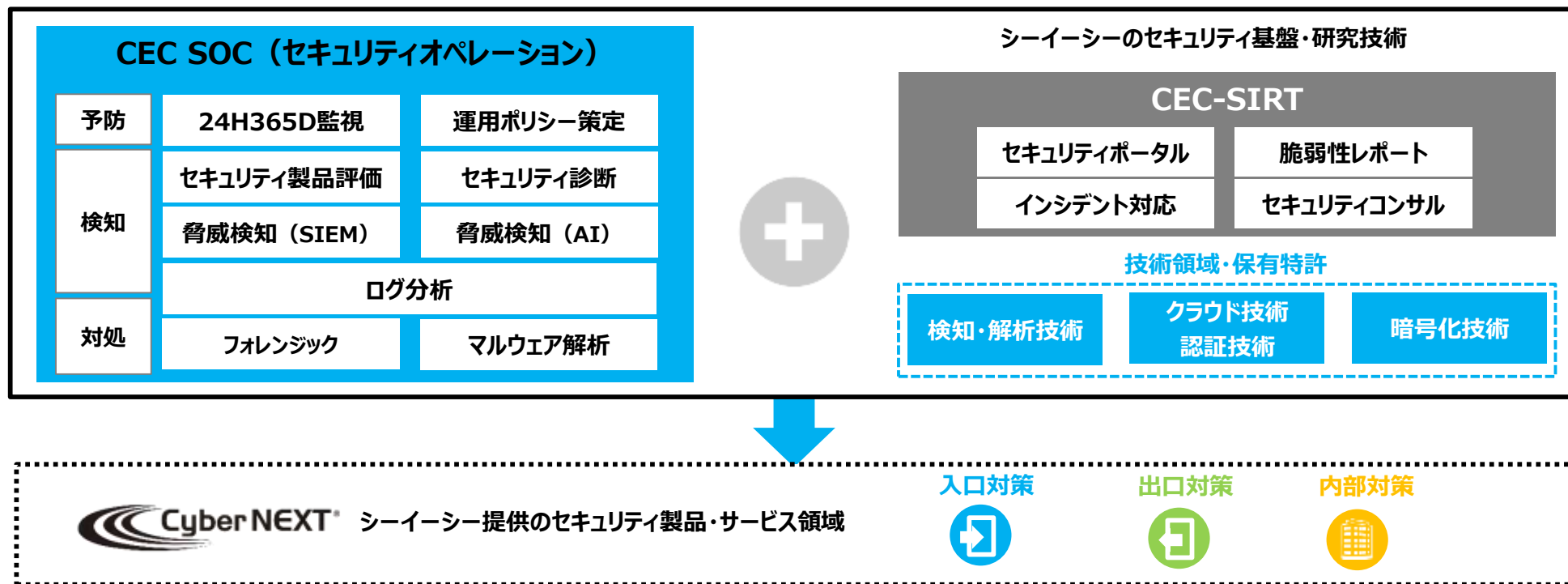
■ 日本版インダストリー4.0の実現をさらに進化 ～見える化から最適化へ～

- ・ 製造現場の4M（人・設備・モノ・方法）の情報を工場IoTプラットフォームで可視化
- ・ QCD向上と経営や現場のリアルタイムな情報共有と作業指示
- ・ AI、シミュレーションを活用した「とまらない工場」実現にむけた生産性向上



■ Cyber NEXTの成長加速

- ・ CEC SOC(セキュリティオペレーション)のさらなる拡販加速とセキュリティ人材の強化
- ・ 業種／業務別特化型サービスメニューの強化(工場セキュリティSecureCross Factory発表済)



■ オフィスセキュリティSmartSESAMEシリーズのさらなる拡販

- ・ 官公庁/自治体分野のさらなる拡大と文教/民需市場への販売展開を推進
- ・ コンビニプリント事業の強化と新たな事業モデルの創出を模索

⑤ トラブルプロジェクト発生を未然防止

2016年1月期からスタートした成長戦略対象期間においては、ISO09001活動を徹底し、的確なプロジェクト管理を実施できるよう全社横断的にフォローしてきた結果、利益向上の成果を上げることができたが、今期も継続して活動を強化する

- 案件のライフサイクルの各プロセス毎のチェック
(見積時、受注時、プロジェクト発足時、進行時は毎月、納品時)
- 一定規模以上のプロジェクトは4階層のチェック
(部、事業部、ビジネスグループ、全社それぞれの会議体にてチェック)
- 全社組織である品質管理部門が、全事業部のプロジェクト管理の会議に参加し、各プロジェクトの状況を第三者の目でチェック、課題があれば適宜改善指示



第2期中期経営計画 PROMINENT概要

PROMINENT

特定の事業分野で**際立つ**企業となる

技術が際立つ

人が際立つ

技術

商品
サービス

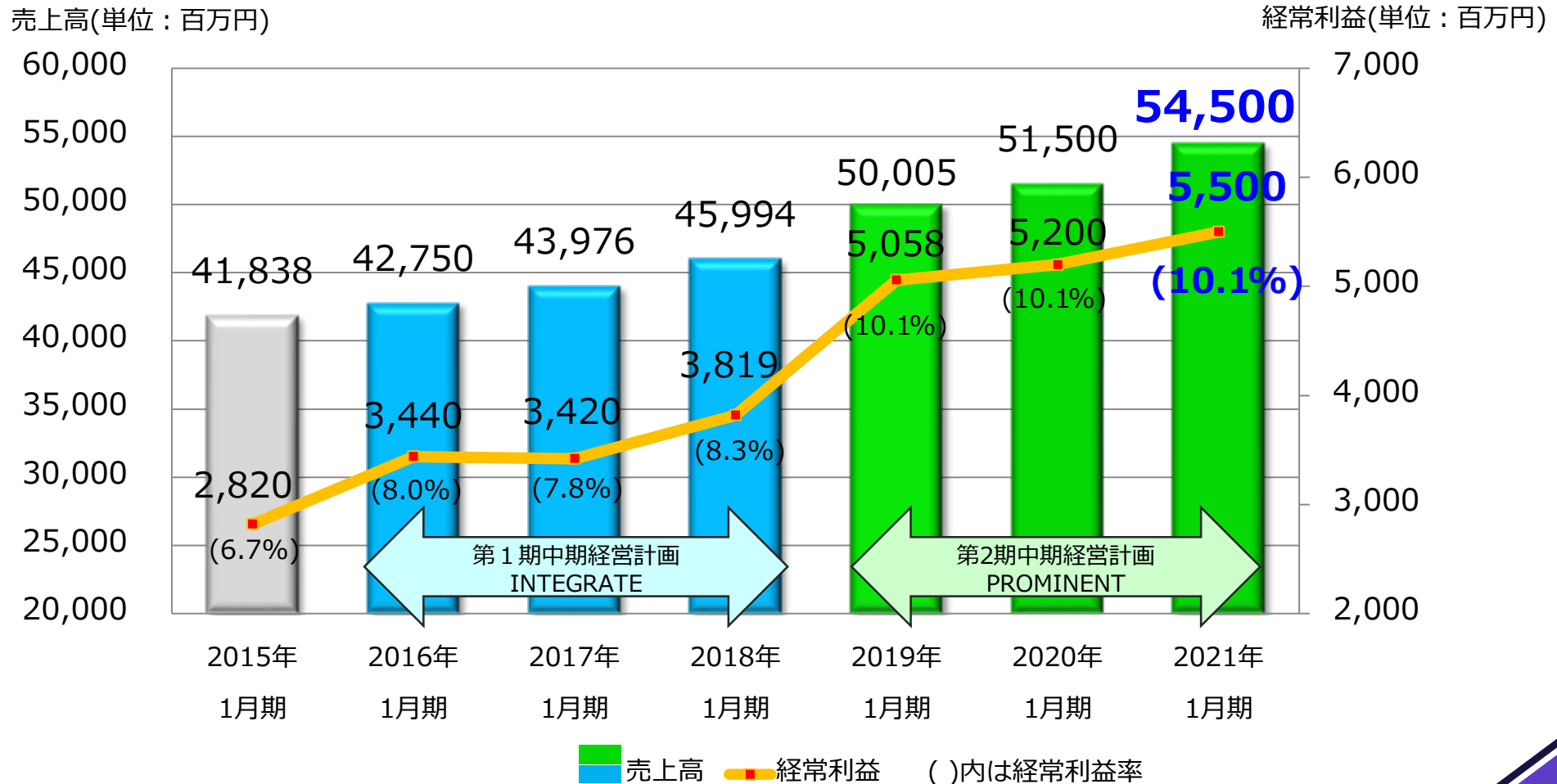
商品・サービス
が際立つ

会社全体が社会で
際立つ存在になる

社会

損益目標

■ 連結売上高545億円、連結経常利益55億円(同率10%超)を目指す



その他の経営目標

- 資本の効率的かつ積極的な活用を通じて企業価値を向上し、株主に貢献する

資本効率	ROE 10.2% → 12.0%以上 (2018年1月期実績) (2021年1月期目標)
株主還元	配当および株価向上による資産価値向上による還元を行う 引き続き安定配当を基本としつつ、積極的に株主還元を実施
その他	設備投資も積極推進し、企業価値向上に努める

■ 人が際立つ企業となるため、次の施策を実施する

働き方改革

- ・平均残業時間20時間/月以下
- ・有給休暇取得率100%
- ・雇用形態のダイバーシティ対応
- ・テレワーク就業形態の試行
- ・業務改善（RPA活用による定型業務の自動化など）

働き甲斐の向上

- ・人事制度改革を通じて平均年収を向上させる
- ・優秀な人材がより多くの働き甲斐を感じることができる体制を整備
 - － 拠点拡充、福利厚生充実など

女性の活用

- ・女性管理職の意識的な拡大
- ・女性従業員比率を第56期までに30%
- ・女性の長期雇用を可能とする就業形態/就業支援策の整備

次世代人材育成

- ・幹部職/プロ技術者を組織的に育成する教育システムを追加



Shape your future

CEC
Computer Engineering & Consulting

おわりに
おわりに

成長戦略の対象期間

第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度

成長戦略の対象期間 第48期～第53期までの6カ年

第1期中期経営計画 INTEGRATE

特徴ある事業モデルに集中し
事業効率の高い事業構造を創り上げる

グッド
カンパニー

事業効率を高め、規模を拡大
できる事業構造改革を推進

第2期中期経営計画 PROMINENT

特定の事業分野で際立つ企業となる

エクセレント
カンパニー

高い事業効率を維持/向上
した上で事業規模を拡大

成長戦略で目指す会社の姿

■ シーイーシーのDNA

誠実・謙虚なるも、成長に意欲的な会社・従業員である

■ 成長戦略のコンセプト ～ 商品を変える ～

少子・高齢化による労働力の減少に対して、労働生産性を向上させ、それを補うICT製品・サービスを提供することによって、お客様企業の事業継続・事業拡大に貢献する

■ 経営ビジョン

目指すのは「**グッドカンパニー**」

- ・ 健全な財務体質
- ・ 成長が期待できる事業内容
- ・ 優秀な人材が集まる
- ・ 高い事業効率(経常利益率10%以上)
- ・ 高い株主貢献(高い株価、高配当)



■ 企業として目指す姿

- ・ 特徴ある製品/サービスで市場から認知され、成長を期待される企業
- ・ 新たな商品を常に生み出し、投資と収益のバランスが取れた競争力ある企業
- ・ 従業員が活力に溢れ、自己の成長を実感でき、会社の成長への貢献に喜びを感じられる企業



顧客・パートナー企業・従業員・株主と
常に喜びを分かち合える会社になる

ご清聴ありがとうございました



Shape your future

【お問合せ先】

株式会社シーイーシー

企画部 IRグループ

03-5789-2442

経理部 IR担当

046-252-4111

- 本資料は、投資を勧誘する事を目的として作成されたものではありません。
- また、本資料に記載しております将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、変動する可能性がある事をご承知おください。